

# 北海道考古学会だより

第 129 号

2021.3.12

## 目 次

2021年度 北海道考古学会総会・研究大会の開催について	1
2021年度総会について	1
学会運営委員の改選—運営委員の推薦について	1
監査委員の改選—監査委員の推薦について	3
会誌編集委員の改選—編集委員の推薦について	3
2021年度研究大会「北海道に残る 二万三千の豊穴（くぼみ）」	4
2020年度 遺跡調査報告会の実施報告	5
会員からの投稿	6
西脇対名夫氏「沿海地方古金属器時代土器の外傾接続」	
事務連絡	8
総会出欠票返信のお願い	8
住所・所属変更について	8
会費納入についてのお願い（重要）	8

## 2021年度 北海道考古学会総会・研究大会の開催について

### 2021年度総会について

2021年度総会を研究大会の開会前に同一会場にて開催します。総会は会員が会の運営に直接参加する重要な機会であり、また今回は運営委員の改選期にあたりますので、多くの会員の出席を期待します。なお、やむをえず欠席される予定の会員は、4月28日（水）（事務局必着）までに委任状を必ず提出されるようお願いいたします。

日 時：2021年5月29日（土）12：40～13：10

会 場：北海道大学学術交流会館 1階 小講堂（札幌市北区北8条西5丁目）

### 学会運営委員の改選—運営委員の推薦について

北海道考古学会会則第6条、委員および委員会規則第2条、および北海道考古学会委員公募細則に基づき、2021年度から2022年度の北海道考古学会運営委員を下記のとおり推薦願います。

規則第5条および第6条の規定により、地域委員10名、運営委員16名以内が会員の推薦を受け、総会で選出されます。北海道考古学会地区別会員名簿から5名までの会員を運営委員、所属する地区より1名を地域委員として、同封のハガキまたは同様式に準じた封書等にて、事務局までご推薦ください。

1. 推薦期間 2021年4月28日（水）（事務局必着）まで

2. 推薦対象外会員

会則及び規則により委員となることの出来ない会員は次のとおりです。この会員の推薦は無効となります。

地域委員 渡邊つづり（第5地域）、乾 茂年（第6地域）、平河内毅（第7地域）、  
 笹田朋孝（第10地域）

運営委員 真杵 黙、石川直章、松田宏介、鈴木建治、守屋豊人

3. 再任対象会員

現委員のうち、会則および規則により、継続再任が出来る会員は次のとおりです。

地域委員 山戸大知（第3地域）、片山弘喜（第4地域）、大鳥居千鶴（第8地域）、  
加藤朋夏（第9地域）  
運営委員 内田和典、國木田大、直江康雄、柳瀬由佳、岩波 連、大塚宣明

なお、委員選任に関する規則を下記に抜粋掲載します。

#### 会則（関係部分）

第6条 本会に次の役員をおきます。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 1名
- (3) 地域委員 10名以内
- (4) 運営委員 16名以内
- (5) 監査委員 2名

2 地域・運営・監査委員は、会員の推薦を得て総会で選出し、正副会長は委員の互選により決定します。

3 会長は本会を代表し、副会長は会長を補佐します。地域委員は地域を代表し運営委員は本会の運営実務を担当し、監査委員は本会の会計を監査し総会に報告します。

4 委員の任期は1期、2ヶ年とします。ただし、2期、4ヶ年までの継続再任が出来ます。

#### 北海道考古学会委員公募細則

##### （目的）

第1条 この細則は、北海道考古学会規則第1号「委員及び委員会規則」（以下、規則という。）2条で規定する委員の選出方法について定めることを目的とする。

第2条 委員は会員の推薦により委員会が候補者を選定し、総会で決定する。

##### （推薦）

第3条 会員は、「地域委員」を規則第4条別表1の所属する地域に限り、その所属する地域の会員の中から1名を推薦できる。また「運営委員」を会員の中から5名を限度に推薦できる。

##### （推薦様式）

第4条 会員からの推薦は、様式1にて行う。封書、葉書およびFAXにて受け付ける。

##### （委員選出）

第5条 委員選出の手続きは次のように行う。

- 1) 公示 文書、だより等で総会の2ヶ月以上前に。
- 2) 受付 総会の2ヶ月前から1ヶ月前まで事務局で。
- 3) 集計審査 受付終了直後、事務局で。
- 4) 候補者選定 (委員会決定) 総会直前の委員会で。
- 5) 候補者公開 総会開催日までに。
- 6) 委員選出 総会議決。

##### （候補者選定）

第6条 会員推薦に基づき委員会での候補者選定は次のように行う。

1) 地域委員 イ審査 被推薦者が会員で所属地域居住者であること。委員辞任後、2ヶ年以上経過した会員であること。

ロ集計 地域、被推薦者毎に。

ハ候補者選定 地域毎に最大数の推薦を得た会員より順次本人の承諾を得て、1名を選定する。

2) 運営委員 イ審査 委員辞任後、2ヶ年以上経過した会員であること。

ロ集計 被推薦者毎に。

ハ候補者選定 最大数の推薦を得た会員より順次、本人の承諾を得て、定期改選時は16名以内、臨時改選時は欠員数を選定する。

#### 委員および委員会規則（関係部分）

##### （選出方法）

第2条 委員は、会員による推薦などの公募手法により候補者を選出し、総会で決定する。

##### （任期）

第3条 委員の任期は1期、2ヶ年とする。ただし、2期、4ヶ年までの継続再任ができる。

##### （区分）

第4条 委員は、別表1に定める地域を代表する「地域委員」と実務を担当する「運営委員」とに分かれる。

##### （定義）

第5条 地域委員の定数は、別表1に定める地域毎に1名とする。ただし、第1地区および第2地区からは選出しない。運営委員は別表2に定める業務を担当し、16名とする。

#### 第5条 別表1 地域委員選出地域表

地区名	所属範囲
第1地区	札幌市
第2地区	石狩管内
第3地区	後志管内
第4地区	渡島檜山管内
第5地区	日高胆振管内
第6地区	空知上川留萌宗谷管内
第7地区	網走管内
第8地区	十勝釧路根室管内
第9地区	東北地方管内
第10地区	本州地区（東北地方を除く）管内

#### 別表2 運営委員業務担当表

業務名	業務内容	定数
会長	会代表、委員会議長	1
副会長	会長補佐	1
総務	総会開催、会庶務業務	2以内
会計	会計事務	2以内
会誌	編集委員、会誌発行業務	2
だより	だより発行業務	2以内
研究会	研究大会、月例研究会業務	2以内
見学会	遺跡見学会業務	2以内
報告会	遺跡発掘調査報告会業務	2以内

#### 監査委員の改選—監査委員の推薦について—

会則第6条の3の規定に基づき、2021年度から2022年度の「監査委員」を下記のとおり推薦願います。北海道考古学会地区別会員名簿から、2名までの会員を監査委員として、同封ハガキまたは同様式に準じた封書等にて、事務局までご推薦ください。

1. 推薦期間 2021年4月28日（水）（事務局必着）

2. 推荐対象外会員

現委員のうち、会則および規定により継続再任が出来ない会員は次のとおりです。この会員の推薦は無効となります。

角田隆志

3. 再任対象会員

現委員のうち、会則および規定により継続再任が出来る会員は次のとおりです。

瀬川拓郎

#### 会誌編集委員の改選—編集委員の推薦について—

会則第9条の3および北海道考古学会会誌編集委員会設置要綱（以下「要綱」）2の1の規定に基づき、2021年度から2022年度の「会誌編集委員」を下記のとおり推薦願います。会誌編集委員会は、会員の中から推薦された5名（1号委員）と、運営委員会の会誌担当委員（2号委員）により構成されます。北海道考古学会地区別会員名簿から、5名を会誌編集委員として、同封ハガキまたは同様式に準じた封書等にて、事務局までご推薦ください。

なお、委員への委嘱は会長が行います。

## 北海道考古学会会誌編集委員会設置要綱（関係部分）

### 2. 組織

- 1) 編集委員会は、会員の中から推薦された5名（1号委員）と運営委員会の会誌担当委員（2号委員）2名との7名の委員により構成され、北海道考古学会会長が委嘱する。
- 2) 編集委員会に編集委員長および副編集委員長各1名を委員の互選により置く。
- 3) 編集委員の任期は運営委員に準ずる。

1. 推薦期間 2021年4月28日（水）（事務局必着）まで

### 2. 推薦対象外会員

現委員のうち、要綱により継続再任が出来ない会員は次のとおりです。

高倉 純、手塚 薫、内山幸子、荒山千恵

### 3. 再任対象会員

現委員のうち、会則および規定により継続再任が出来る会員は次のとおりです。

該当なし

### 委員推薦様式

2021年度 北海道考古学会 総会出席票（2021年4月28日必着）	
定期総会	出席 欠席
研究大会	参加 不参加
欠席の場合は、下記の委員会に記入ください。	
委任状	
私は、2021年度北海道考古学会定期総会の議決について、議長に一任します。 2021年 月 日	
会員名 _____	
■ 学会運営委員などの推薦 2021年4月28日必着	
北海道考古学会 様	
・「地域委員」推薦会員名 _____ 氏	
・「運営委員」推薦会員名 1 _____ 氏 2 _____ 氏 3 _____ 氏	
4 _____ 氏 5 _____ 氏	
・「監査委員」推薦会員名 _____ 氏 _____ 氏	
・「会誌編集委員」推薦会員名 1 _____ 氏 2 _____ 氏 3 _____ 氏	
4 _____ 氏 5 _____ 氏	
私は上記のとおり推薦します。 2021年 月 日	
会員名 _____ 住所 _____	

## 2021年度研究大会

### 「北海道に残る 二万三千の豊穴（くぼみ）」

2020年度、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期とした「北海道に残る 二万三千の豊穴（くぼみ）」を、2021年度研究大会として開催します。会場・日程等の詳細については、決定次第お知らせします。なお、今後の新型コロナウイルス感染症の状況により、予定が変更になることが予想されますので、ご承知おきください。

再掲となります。以下に内容を掲載します。

開催予定：5月29日（土）13:20～

テーマ：「北海道に残る 二万三千の豊穴（くぼみ）」

### 【趣旨】

北海道には古代の豊穴住居が今も窪んだまま残っている、特に道東の豊穴住居群は千軒を超える住跡が集まっている場所もあり、これほど大規模な集落遺跡が残った地域は北海道以外ではみあたらない。

北海道各地で大切に残されてきた遺跡について、各郷土で行われてきた考古学的な調査と研究を紹介して頂き、これをもとに、北海道島におけるホモサピエンスが、時代と共に変化する周辺の政治情勢や自然環境の中で生みだした、文化と歴史を検証する。あわせて、北海道におけるアイヌ文化期以前の各遺跡が持つ固有の価値について理解を深めることを目的とする。

北海道では令和2年7月12日に胆振の白老町に民族共生象徴空間（ウポポイ）が開業した。今回の大会では、アイヌ文化期以前の古代集落が残された各地域から、近年までの研究の成果を紹介して頂き、北海道における社会の変化とアイヌ文化成立の構造を知り、北海道の歴史と文化への理解を深める基盤研究としたい。

### 【発表者及び発表内容】

#### 基調講演①

「北海道の大規模豊穴群と擦文化の展開」  
澤井 玄 氏（北海学園大学ほか）

#### 基調講演②

「オホーツク文化の集落」  
熊木 俊朗 氏（東京大学）

#### 研究発表①

「根室海峡沿岸地域の大規模豊穴群」  
小野 哲也 氏（標津町教育委員会）

#### 研究発表②

「湧別の大規模豊穴群」  
林 勇介 氏（湧別町教育委員会）

#### 研究発表③

「道北部の大規模豊穴群」  
坂本 尚史 氏（公益財団法人北海道埋蔵文化財センター）

## 2020年度 遺跡調査報告会の実施報告

今年度の遺跡調査報告会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、予定していました集会形式での開催を取りやめ、学会誌『北海道考古学』第57輯での誌上報告の形を取ることになりました。本年度、道内で行われた発掘調査は43件、総面積は21,803m<sup>2</sup>で、発掘原因別では昨年度に引き続き大学・研究機関による学術研究が最多となり、公共事業等に伴う大規模な緊急発掘調査は減少の一途をたどる結果が見て取れました。誌上では、各地域の概況およびそれらを総括した全道の概況についての報告を掲載する予定です。

## 沿海地方古金属器時代土器の外傾接続

西脇 対名夫（札幌市在住会員）

今年2月下旬、同志社大学の水ノ江和同教授の調査旅行に同行して初めてウラジオストクを訪れた。調査の目的は主に新石器時代の装身具—特に玦状耳飾で、私の役目はこの調査に伴う意思の疎通？だったが、個人的には縄繩紋式の初め頃に平行する沿海地方の土器の成形手法について、この機会に情報を得ることが希望だった。

もう15年以上前になるけれども、道央地方の縄紋式の末ごろに外傾接合によって土器を成形する手法が現われて縄繩紋式の前葉に続き（鈴木・西脇2003）、道東地方では縄繩紋式の前半くらいまでこれが続くらしい、ということを知った。同様な成形手法の変化は西日本の縄紋式の末から前期弥生式にかけても起こることが知られていて、朝鮮半島の無文土器の成形手法からの影響によるものとみられている。しかし本州の東半（恐らく渡島半島も）ではこうしたはっきりした変化が生じたという話を聞いたことがなく、なぜ遠く離れた北海道に西日本と歩調を合わせたかに見える変化が生じるのかが疑問である。それで大陸の、北海道により近い地域にもこの手法がないのか確かめたかった。

滞在の初日は日曜日で、午後にアルセニエフ記念国立沿海地方博物館の展示を見学した。考古学部門の常設展示に古金属器時代の土器が展示されていて、そこにあっけなく外傾接合の事例を見た。高さ45cmくらいの無文の甕形土器で、底部から体下部にかけ明瞭な外傾接合の擬口縁と思われるものが3段、部分的に露呈している。展示解説にはインコフスキイ文化[инковская культура]の土器とあった。

翌日、ロシアでは「祖国防衛者」の振替休日だったのだが、極東連邦大教育・研究博物館のアリクサンドル・パボフ館長の配慮でボイスマン2貝塚2号墓域4b号墓の玦状耳飾などの調査が行われた。教授の調査中、資料の出納に対応したバリース・ラージン氏がインコフスキイ文化の研究をしている、とのことなので昨日国立博物館で撮った写真を見せると「これはインコフスキイではなくクロウノフカ文化[кроуновская культура]の土器のやり口」との話。パボフ館長に、北海道の外傾接合手法が沿海地方からの影響によるのではないかと思うが、という話をすると「沿海地方から東へ日本海を渡ることは南へ流れる強い海流のため困難で、普通は朝鮮半島へ流される。北海道へ行きたければ海岸を相当北上してからサハリンへ渡らないと難しいだろう」との意見だった。

火曜日は極東諸民族歴史考古民族誌学研究所でチョールタヴィ・ヴァロータ洞窟の玦状耳飾などの調査。訪問の調整をしてくれたイリーナ・ジュッシホフスカヤ博士に昨日の話をするとき、「クロウノフカ文化の土器は底部周囲をつまんで薄く立ち上げ、その外面に上位の粘土帯を貼り付けて側壁を作っていくものが多い」とのこと、外傾した擬口縁のところで体部から遊離した土器の底部を見せてくれた。「インコフスキイとクロウノフカはだいたい無文土器の前期・中期に対応し共通点が多い。しかしクロ

ウノフカは主に内陸に分布し家畜を持つ農耕文化で、それが海を渡って北海道へ影響するかなあ」との意見だった。

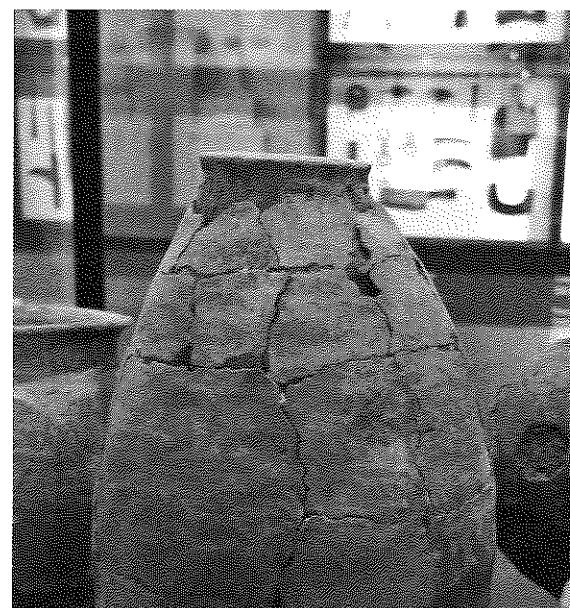
北海道で縄紋から続縄紋の移行期に現れる外傾接合の手法や犬の食用などは、広い意味では無文土器に代表されるような北東アジア沿海部の文化が前1千年紀の日本列島に強い影響を与えた結果の現われであるのだろう。その影響は朝鮮半島・九州経由の経路によってのみ生じたのか？縄紋式のような本州との緊密な連絡を相当程度まで解消し、代わってそれまではほとんどなかったサハリン方面との交流を通じてその分布圏を形成したのが続縄紋式（特に前半）の特徴であることから言えば、西日本とは別の接触・影響の経路を考えてみる必要もあるのではないだろうか。

帰国後、ジュッシホフスカヤ博士にお礼のメールを送ると「無文土器文化研究に関する交付金の仕事を継続するためパボフ館長と韓国へ行くつもりだったが、コロナウィルスのせいいで当面延期」との返事。ゆくゆくは北海道の資料にも関心を持ってもらいたいもの、と感じた。

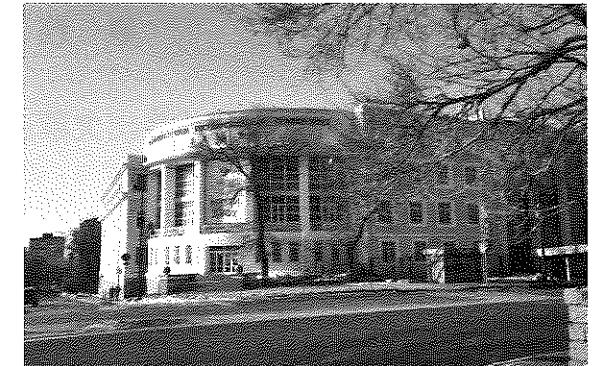
（2020年3月8日）



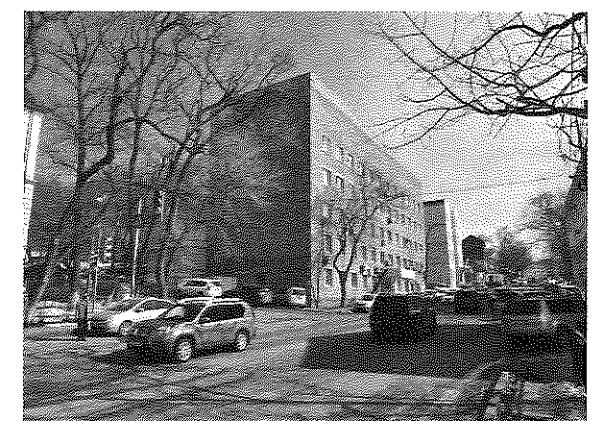
写真① ウラジオは坂道の多い港町。スヴィトランスカヤ通り、沿海地方国立博物館の正面。



写真② 沿海地方国立博物館の常設展示品に見られる外傾接合痕。土器の成形の軸が底面と直交していないこと（そのため倒立して展示されている）も注目される。



写真③ アキアンスキイ大通りを挟んでパクロフスキイ公園の向かいに建つ連邦極東大学教育・研究博物館。



写真④ ブーシュキンスカヤ通りのアカデミー極東諸民族歴史考古民族誌学研究所（水之江教授撮影）。

鈴木 信・西脇対名夫 2003「北海道縄文晚期後葉の土器製作技法について」『立命館大学考古学論集 III』同論集刊行会、123～142

## 事務連絡

### 総会出欠票返信のお願い

2021年度北海道考古学会総会の開催にあたり、出欠確認と運営委員推薦のための返信葉書を同封しております。各項目にご記入の上、必ずご返信くださいますようお願いいたします（4月28日事務局必着）。

### 住所・所属変更について

住所・所属に変更のある会員は、速やかに事務局にご連絡くださいますようお願いいたします。ご連絡のない場合、刊行物の発送が滞ることがありますのでご注意願います。総会出欠票に新住所・所属を記載していただく場合は、変更のある旨を欄外に明記してください。

### 会費納入についてのお願い（重要）

会の運営には、会員の皆様のご協力が不可欠です。会費の年内納入にご協力いただきますようお願いいたします。また、本年度を除く過去3年以上の会費が納入されていない会員には、北海道考古学会誌を送付しておりません。会費納入を確認後、送付いたします。

郵便局口座番号：02770-6-8358 加入者名：北海道考古学会  
年会費：（一般）5,000円 （学生）3,500円

#### 【会費未納会員への対応】

会費の未納がある会員は速やかに学会事務局までご連絡いただき、会費を納入してください。なお、場合により運営委員会から直接ご連絡を差し上げることがありますのでご了承ください。

---

北海道考古学会だより 第129号 2021年3月12日 発行

発行所 北海道考古学会（ホームページ：<http://haa.main.jp/cms/index.html>）

事務局：〒069-8555 江別市文京台11番地札幌学院大学

人文学部人間科学科 白杵研究室気付 北海道考古学会事務局

E-mail：[hokkaidokoukogakkai@yahoo.co.jp](mailto:hokkaidokoukogakkai@yahoo.co.jp)

印 刷 北海道図書企画 (011)668-1131

---